

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
電話三〇七番

外科 耳鼻科
婦人科
赤心堂病院
平町宇田町
電話四七五番

ホスター類
展覧會
郡下各商店
期日六月一日二日頃
場所公會堂

出品物
商品包紙、レツテル
ホスター、ペーパー、
型録、商品切手、
受取書等一切
申込所
平町田町
一〇商店
みどり會宛

京都産出瓦葺
コーラス特約販賣 有聲隣座
藤田家傳
代價拾錢
藤田家傳
藤田榮助
平町田町電話三二八番

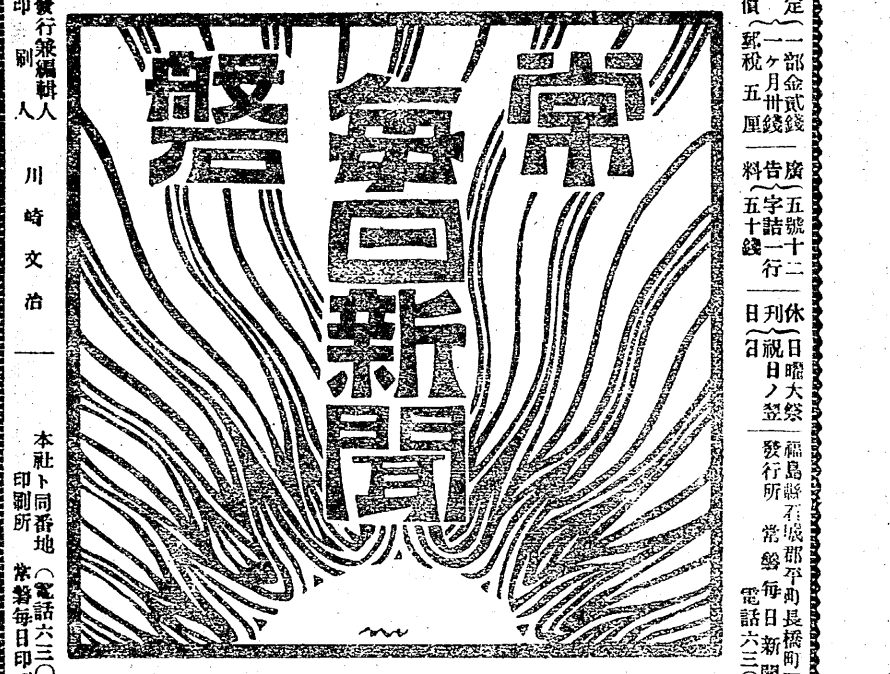
内小兒科
花柳病科
(需應院入)
平町紺屋町
藤沼醫院
電話四五七〇番

あん餅で
東北一...
鐵道省御用舖
花澤四良司菓子店

開店披露
カフエー松ヶ岡
勉強と!!迅速とを
御試めし下さいませ
平町研町 電話呼出 二二三番
女中數名募集

吉田眼科醫院
專賣特許タイル
各種タイル
テラコッタ
煉瓦
衛生用陶磁器
御注文申込次第
店員參上
產地「伊賀」焼
特約店
上武屋茶店
平町三丁目

葉田洋服研究所
集募生究研
理想の洋服教授!!!
最も好評を博して居る...
和服一般教授
婦人子供其他洋服教授
生花茶ノ湯其他
葉田千枝
教師
平町南町(青木寫真館前)



刊夕日四十月五

常盤毎日新聞
晚春茶話
貴ひ度い者は下手に出る事
ジャンジャック、ルーソーが幼少の折家計貧困であつたが、徒をた小供には刑罪として夕飯を食はせぬ事にしてあつた。ある時ルーソーはこの刑罪に引つ掛つて夕飯を食はずに寢床に行かねばならなかつた。哀れなルーソーは食卓の上の焼肉の方に向き直つて、焼肉さん左様ならと云ふて寢床に行かんとした、このいぢらしい光景を眺めた父親はルーソーを特赦して夕飯を

食ふ事を赦した。ルーソーは焼肉を食ふ權利を主張する代りに、温順に父親の命令に従つて反つて焼肉を得た。凡て物を貴ひ度い人は下手に出る事か
▼化物の手は冷いもろか
今は昔松島の瑞嚴寺に某と云ふ名僧があつた。山中の墓は日中でも淋しいりにこの名僧は毎晩しかも丑滿頭に墓場に行つた。この事を不思議に思つた村のある青年が、一つ名僧を驚かして遣らうと考へて、毎晩通ふ細通の樹に上つて待つて居た。待つ程に名僧が丁度樹の下を通り掛つたので青年は大きな手をのばして名

僧の頭を掴んだ。頭を掴まれた名僧が進みもせず退きもせず掴まれた儘に立つて居た。掴んで見たが何の手應ひもない。その中手が草臥れたので頭を離したら名僧は静かにお寺の方に歸つて行つた。翌日青年が何食はぬ顔をしてお寺に行つて昨夜何か不思議な事がなかつたかと問ふたら、名僧答へて曰く夕何處の馬鹿野郎だか樹の上から己れの頭を掴んだ奴があつた。化物の手なら冷い筈だが温い手だつたから村の若者の徒と直ぐわかつた。無門曰く化物の手が冷いとは御經の何處に書いてある。(つづく)

競馬大會
五月十五、十六の兩日
平町八幡小路グラウンド
石城、双葉、田村、茨城其他より五十餘頭
優勝馬に金五十圓
外各等に相當賞金を贈る
馬疋一頭に對し金五圓
乘馬假裝行列並に打球競技
出場希望者は平驛前事務所
に申込まる可し

磐城共濟病院
院長醫學博士 助川喜四郎
副院長醫學博士 藤井秀旭
醫學博士 竹内俊一
醫學博士 押川公介
醫學博士 小池徳造
醫學博士 近藤潤平
醫學博士 河合健吉
耳鼻咽喉科醫學博士 松本本松
醫學博士 澤口清治
藥劑士 吉本孝平
顧問醫學博士 大瀧潤家

我れ等の大敵
大蠅取デー
五月上旬より八月下旬迄
蠅を取れ!!
嫌な蠅をドウして取る?
一も二もなく田澤除蠅粉で
△ほんの少しで
「蠅、ウジ、蚊、南京虫、虱、毛虱、牛馬家畜蠅、蛇、羽虫、其他」
一たまりもなく死にます
たさははいせり、
田澤除蠅粉
代理 **小野屋藥舖**
平町四丁目電話一四四番

開店御披露
美術表具
玉成堂
平町田町

余釀造元
清酒 鶴仙
石城郡平窪村
松吉屋本店
電話二四一番

